事業を行う豊橋埠頭(本社=豊橋市神野ふ頭町、石川昌司社長)を訪れた。

クラップが輸送されてくる地域でもある。 豊橋港で鉄スクラップなどの荷役

誇る。また、近隣には電炉メーカーが主力工場を構えており、

全国から鉄ス

港の1港区として自動車や鋼材などの荷役が活発に行われている。

鉄スク

愛知県東三河地区の中核都市・豊橋市の西南部に位置する豊橋港は、三河

ラップの海上輸送も盛んで、輸出量は中部地区において衣浦港に次ぐ規模を

令和6(2024)年7月1日

拠点所在地



もに、鉄スクラップの内航調

における資源循環の加速とと

クラップの荷下ろし作業が活

ラップ保管の能力は更に拡大

する見通しだ。

豊橋埠頭も将

故防止、チームワークの強化 ほしい。それが疲労軽減や事

など良い方向につながってい

へはずだ」と話し、豊橋埠頭

左から壁谷課長、石川社長、清原主任

材確保とスキル

扱いの強化や

の更なる飛躍を決意している。

鉄スクラップの荷役事業も

幅広い貨物の取 来を見据えて

の継承に注力し

の清原幸大主任

指のスキルを磨き続けていく。

間2万ヶ規模の安定した取

用地拡大が実現すればスク

承できない。スタッフには新 場環境でないと良い技術は継 なった。石川社長は「良い職 ス張りのオーシャンビューに 2階にある休憩室は全面ガラ

い事務所で快適に過ごして

リアを拡張する構想もある。 定が進んでおり、船渡ふ頭エ 河港周辺には電炉メーカーが

本州の中心部に位置する三

発化することも想定される。

敷地内に新事務所が完成した。

めている。今年6月には本社

近年は労働環境の改善も進

さ上げたものをしっかりと受

6月には新事務所が完成

局いスキルを次の世代

王力工場を構えている。国内

港湾能力を強化する計画の策

また、愛知県では三河港の

ラップは「神野ふ頭」(1隻 関事業など、港湾に関わる各 およそ3割を占める鉄スク 種事業を手掛けている。 を中心にモータープールや通 庫、セメントセンターの運営 港湾荷役事業が扱う貨物の

の鉄スクラップの取扱い量は 行うほか、船渡ふ頭では5区 を管理・運用している。現在 画8事業者のストックヤー ク船の船積みや荷下ろし、コ ンテナへのバンニング作業を

へ積載するスクラップ

スクラップを知る、プロの技、 2日間で6000%の船積みも 頭」(同3000%)でバル あたりの最大積載量600 6500%) と「船渡ふ もあり、岸壁はフレキシブル に利用することができる。 活性化を目指す愛知県の協力 いて石川社長は「能力の高さ ラップが集まる。 ている」と話す。静脈産業の は国内でも随一との評価を得 鉄スクラップの取扱いにつ

心に創立した。港湾荷役、倉

に豊橋商工会議所の会員を中

豊橋埠頭は1970年8月

全を第一にしつつ、出来ない と判断する前にやれる方法を 危険物や嫌忌物に対する知識 「厳しい要望に対しても安

を中心に一部は静岡県東部や 00%。 三河から浜松エリア 山梨県からもスク

考え抜く」と話す。現場では 業務部港湾課の壁谷勇一課長 実績もあるという。 が荷役を2日間で完了した 人ひとりのスキルも高い

かつて輸出向けの新断600 ち輸送の時間が短縮され、 きるため、ヤードからの横持 は予めエプロンにストックで 、の積み込みも短時間で行う。

化した。当時は周辺の港湾荷 き上げたものでもあった。 誇りとする今日の技術は、 でほしい」という声にも懸命 事業を伸ばして行くためには 役事業者で最も後発だった。 取扱いはおよそ30年前に本格 スクラップ事業者とともに築 独自性を持つ必要があったと に応えていった。豊橋埠頭が た「出来ないばかり言わない いい、ユーザーから掛けられ 豊橋埠頭の鉄スクラップの

豊橋埠頭(爱知

船渡ふ頭ストックヤ

安全かつ迅速で円滑な作業 対する誇りと深い理解を る一員としてスクラップに 活発な共有を図っている。 持った『プロの技』 鉄リサイクルの輪を形成す にアンテナを張り、社内で きを適格に捉えるために常 響など、鉄スクラップの動 から、荷主や受荷主の特徴 が、

~住友建機がある風景~



SH330LC-7MH: 2024年6月現在、豊橋埠頭では計8機 (船渡ふ頭) の住友建機製荷役マシンが稼働して いる。取材日直前の5月27日には船渡 ふ頭(豊橋市明海町)のストックヤー ドに「SH330LC-7MH」を迎え入れた。

技術良し、機械良し、メンテ良し

豊橋埠頭における鉄スクラップ荷役能力の 高さを説明する石川社長は、現場の技術の高 さとともに、使用する機械とメンテナンスの 良さを強調する。作業員の技術、機械性能、 整備力のいずれが欠けても、質の高いレベル の港湾荷役を実現することはできない。

機械販売とメンテナンスを手掛けるブル (本社=愛知県豊川市) の森太



機械の販売・整備を 手掛けるブルドー

郎社長は「いざトラブ ルが発生した際、いか に短時間でお客さまの 作業を再開できるかを 常に意識している」と 会社の姿勢を示す。

豊橋埠頭の壁谷課長 は住友建機のマシンに ついて「操作性も良く、 ザー整備の森太郎社 パワフルでマグネット 長(右)と水島佳之氏 の付きが良い。今では

住友建機以外は考えられない」と評価する。 その評価は、豊橋港のスクラップヤードを訪 -目瞭然だ。今や周辺の同業者を含む の建設機械が住友建機製になっている。

20年ほど前には豊橋港に住友建機のマシ ンは1機も無かった。2000年代後半に豊橋 埠頭が初めてSH330LC-3BMHを導入す 壁谷氏は同業者に住友建機を強く勧め -気に導入が広がった。良い技術、 良い機械、良いメンテナンスが豊橋港の荷役 能力を支えている。

担当:影山 友-

2021年より担当さ いております。「お客様の 現場を止めない」をモッ トーに、ブルドーザー整備 様と一緒に頑張ってまいり ます。



◆ 住友建機販売株式会社 浜松営業所

〒435-0013 静岡県浜松市中央区天龍川町490-1 Tel: 050-9001-8645 Fax: 053-411-6364